

# もりのかせ Vol.6



森を感じる情報誌——Green Page Akita

緑の募金で  
ふせごう地球温暖化



公益社団法人 秋田県緑化推進委員会

〈CONTENTS〉特集●中滝森林セラピーロード 森の名手・名人を訪ねる／2 緑育REPORT／4 ボランティア団体を訪ねる／6 GREEN PAGE AKITA／8 Photographこの一枚／10 あきた・緑化の足跡／11 インフォメーション／12

森林浴から一歩進んだ森林セラピー。十和田・八幡平の雄大な自然に抱かれた森林セラピー基地での森林体験イベント。参加者は五感をフルに使って水と緑に癒された時を過ごしました。

特集

## 中滝森林セラピーロード



# 〈特集〉中滝森林セラピーロード 水と緑の癒しの小道

鹿角の森はその癒し効果が科学的に実証されたことから、森林セラピー基地「森と水の癒し里かつの」として、五カ所の森林セラピーロードが認定されており、そのうちの二つ、中滝森林セラピーロード沿いにある中滝ふるさと学舎は森林セラピー体験や休憩場所などを一体的に提供する森林セラピーステーション機能を備えた施設です。

六月十四日は体験イベントとして、ふるさと学舎が実施した「青嶽山登山と滝めぐり」が開催されました。癒しの案内人「かつの森林コンタクター」の案内により、参加者は十和田湖を望む青嶽山山頂からの景観を堪能した後、セラピーロードBで滝めぐり。あいにくの雨天でしたが、美しい水と緑の中、トレッキングで心地よい汗を流し、みんな笑顔。水と緑に英気を養った一日でした。

## 森林セラピー基地とは

私たちは森の中に入ると爽やかな気持ちになり、リラックスすることができます。このリラックス効果が生理・心理・物理実験により森林医学の面から専門家に実証され、さらに関連施設等の自然・社会条件が一定の水準で整備されている地域のことをいいます。



森林コンダクターと共に植物観察



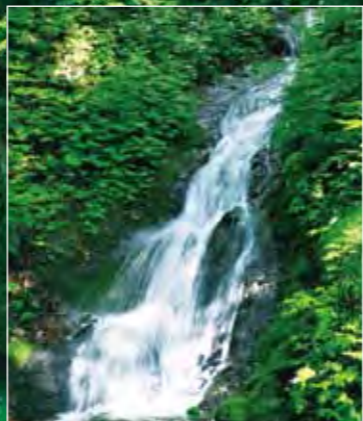
十和田湖南側に位置する青嶽山。標高は772.7m。山頂から駒ヶ岳、八幡平、岩手山、八甲田連峰などを望む360度のパノラマが素晴らしい。



湯の又の滝



銚子の滝



弥助の滝

中滝ふるさと学舎インフォメーション  
お問い合わせ  
〒018-5421 秋田県鹿角市十和田大湯字白沢45-1  
TEL 0186-30-4021 FAX 0186-25-8068  
休館日/毎週月曜日(但し祝祭日にあたる場合は翌日)

- 【施設】
- 森の工房・食の工房(体験プログラム)
  - 森のカフェ(食事)
  - ケビン棟3棟(宿泊・日帰り) 等



木造校舎を活用した施設はぬくもりいっぱい

## 中滝森林セラピーロード



中滝めぐり橋/小道からふるさと学舎へ渡る親水空間を兼ねた橋。

### 中滝森林セラピーロードA

止滝駐車場～中滝～中滝ふるさと学舎  
～面内林道(約1.3km 20分)

### 中滝森林セラピーロードB

国道104号～錦見の滝～銚子の滝  
～湯の又の滝(約1.4km 20分)



「弥助の滝」入り口の木像。森の精が宿っているかのよう。

# 原木しいたけへの情熱

## 原木しいたけ栽培

田中 隆一 氏

### 「森の名手・名人百人」の認定・顕彰について

公益社団法人国土緑化推進機構では、平成十四年度から、新たな国土緑化運動の一環として、森を守り、育て、その恵みを活かして持続的に循環していくことの重要性を社会に訴えるとともに、国民の森づくりへの参画を促す運動として「もりのくに・につぼん」運動を展開しており、すぐれた技術を極め、他の技術・技能者等の模範となっている達人を、「森の名手・名人」として認定・顕彰してきました。

原木栽培と後継者育成への熱い想い

### たゆまぬ努力が実を結ぶ

農家の長男として生まれた田中さんは家業を継ぐために農業の学校にすすみ、水稲としいたけ栽培の複合経営をめぐし、二十代後半に原木しいたけ栽培を始めてから約四十年、傘が肉厚になるジャンボしいたけの生産者として、その名を県内外に広く知られております。



見事なしいたけを作る名人・田中さん

出荷先は大手百貨店からの引き合いもありですが、販路をむやみに拡大するのではなく、品質にこだわり丁寧に栽培しながら、原木しいたけの良さを本当にわかっていただいているお客さんを中心に、



肉厚でジューシー。味もさることながら見た目も堂々とした風格すら感じる田中さんのしいたけ。

### しいたけ栽培は重労働

しいたけの原木栽培(ほだ木)は長さ1m程度に切った広葉樹(榎木等)を原木として利用します。原木は秋から初冬に伐採し、過度な乾燥を避け保管し翌早春に菌菌を駒打ちします。駒打ちした原木は約一年間風通しの良い松林に寝かせ、菌糸体がほだ木全体に回るのを待ちます。

植菌から十六〜十八ヶ月後に棚に原木を交互に立て掛けるように並べ、きのこの発生を待ちます。自然の中で育てるため、害菌の発生を防ぐためにも湿度管理がとて重要で、きのこが発生するのは、だいたい植菌してから二十四ヶ月後で三〜四年間収穫できます。

から四千本を奥様と二人で愛情を込めて栽培しています。原木栽培は手間暇が掛かるうえ、一本一本寝かせたり起こしたり移動したりと大変な肉体労働であり、なあくんと大変だと語ります。お客さんの「うめなあと、ありがたい言葉に支えられてやっています。」と二人で大笑いします。原木栽培がいかに重労働であるか察せられます。

術を持つ田中さんは、後継者の育成や消費拡大にも尽力しています。小中学校や各地域で開催される植菌体験等のイベントで、きのこの植菌がある行事では講師を務めることが多く、しいたけの栽培方法や効能などの講話をしています。イベント等にも積極的に参加し、消費者と直接ふれあうことで、自己の栽培技術等の研鑽と消費拡大に努めています。また、新たにきのこ生産に参入する人々への技術指導にも当たっています。

### 後継者の育成と普及に努める

高齢化と相まって原木生産者が減少している中、原木しいたけ栽培の高い技術

体力の続く限り原木しいたけ栽培を続け、後継者の育成にも一層取り組みたいという田中さんには、原木しいたけ栽培に対する熱い想いがあふれていました。

〈シリーズ〉  
森の名手名人を訪ねる



天然条件と変わらない環境で育てるため、湿度等の1本1本の管理が大切です。



子どもたちの植菌体験の講師を務める田中さん

**田中 隆一 さん**  
昭和21年三種町生まれ。  
〒018-2305 山本郡三種町外岡字羽立51  
TEL 0185-83-3214



## 能代市立常盤中学校

美しい自然に恵まれた秋田県では、古くから学校林を中心とした森林環境教育が盛んです。緑にふれることによって、子どもたちの環境への理解を深めるとともに、豊かな人間性を育む……そんなすばらしい教育の伝統をもつ、多くの学校の中から、今回は能代市立常盤中学校を紹介します。

### 木の香ただよう木造校舎

平成二十四年に、全日本学校関係緑化コンクールで特選(農林水産大臣賞を受賞した能代市立常盤中学校。今年の秋田県学校関係緑化コンクールでも県緑化推進委員会会長賞を受賞するなど表彰の連続です。学校林活動で高い評価を受けている同校の取り組みを取材しました。



昔懐かしい外観と、見事な木組み構造の共有スペース

平成十六年に小中併設校として新築された能代市立常盤中学校の校舎には、秋田杉がふんだんに使われています。外壁は昔懐かしい木造校舎そのものの隣接する地域連携施設との共有スペースには、常盤地

### 歴史ある学校林

常盤中学校の学校林は、学校から四キロほど、一・五ヘクタールの杉林です。三十年ほどの歴史がある学校林は実は二代目で、現地よりさらに奥には初代の学校林があり、昭和二十年代後半にできたといえます。当時植林した経験を語る同窓生は、自分たちが通う校舎が朽ちたとき、この杉が生長して新しい校舎に使える大木



指導を受けながら杉の樹高、杉の胸高直径を測ります。

になるのだと教えられたそうです。

### 小中併設のよさを活かした活動

常盤中学校では学校林活動を「ふるさと教育(ふるさとのよさを発見し、ふるさとへの愛着を醸成し、ふるさに生きる意欲を喚起する)の一環として捉えています。木都と呼ばれる能代市は、古くから樹木との関わりを大切にしてきました。学校林の杉にはナンバープレートが付られており、小学五年生から中学三年生までの五年間、生徒は自分のグループが担当する杉の樹高と胸高直径を測定します。測定器具の取り扱いも大変ですが、特に難しいのが木の頂点を見つけること。そのため、測定器の担当のほかに木を揺らす係もあり、相当に太い木を汗だくになって



小学5年生から中学3年生までの5年間、グループごとに測定する杉にナンバープレートが付けられています。



NPO法人常盤ときめき隊 小林基一さんのお話

学校林活動には、地域の方々も積極的に協力してくれます。地域振興局森づくり推進課、白神森林組合、NPO法人常盤ときめき隊の方々などで、活動のはじめには自然や農林業への理解を深めてくれる講話もいただいています。

### 地域の特産品への理解

揺られて目的の木を知らせるのです。グループは小五から中三まで学年混合で、しかも住んでいる地区ごとです。ですから経験のある中学生たちが、小学生の後輩の面倒を見ながら指導するという体制が自然にできあがります。担当する木の生長を毎年見守ることで、樹木に対する理解と愛着心が育ち、また地域の子どもたち同士に学年を超えた結びつきが生まれます。まさに小中併設校だからこそ可能な学校林活動です。



しいたけほだ木を学校林内に皆で設置

け栽培とその商品化に取り組んだり、炭焼き体験も行っています。また、新たに学校林の杉を伐採して、伝統工芸の曲げわっぱ製作にチャレンジする試みも始められています。こうした常盤小・中学校の学校林活動は多くの注目を集め、来年度の小学校社会科の教科書(教育出版)の中でも紹介されるそうです。





# 人も森も生き物も健康がテーマ、「健康の森」 秋田森の会・風のハーモニー

「秋田森の会・風のハーモニー」は、平成三年、森の景観や地形を利用した森林リハビリや福祉事業を目指して発足しました。「健康の森を中心に、森の保育園、炭焼き体験、海岸林の植樹体験など、さまざまな活動を通して森林環境推進や啓発活動を行い、朝日森林文化賞をはじめ、数々の賞に輝いています。

## 二十年続く森の保育園

秋田市の中心部から南に約十五キロ、下浜羽川字小金山の里山に「健康の森」があります。「秋田森の会・風のハーモニー」代表・佐藤清太郎さんが所有し、市民に開放している三十八ヘクタールの豊かな森です。

年間延べ約三千人の人が訪れるというこの森は、高齢者の健康をテーマにスタートしましたが、子どもたちが主役の「森の保育園」へと発展。高齢者から幼児まで幅広い年齢層が訪れる「にぎやかな森」です。

「森の保育園」は、平成七年に始まって二十年になります。引率する保育士さんの中には、この森の保育園の体験者もいるそうです。

佐藤さんの自宅から十分ほどの「健康の森」まで、園児たちは待ちきれないように駆けだします。森の入

口には、「トトロ」が描かれ、子どもたちが木槌で「コンコン」と叩く板があります。これは森の生き物たちにも「これから入らせてください」と伝える大切なことです。この森の主人公は森の生き物たちだということ、最初に学ぶのです。



トトロの板を木槌で叩きます。この音はクマよけの効果もあるそうです。

## 森と子どもに教えられる

森の中に入ると、楽しい遊びが待っています。土がむき出しになって、ずるずる滑る斜面を登ったり、駆け降りたりするのは、

初めは大人の背丈ほど、次にはその倍もある斜面、最後には大人でも

尻込みするような高く、険しい斜面に挑戦です。四、五歳の園児にはとても無理だと思われませんが、子どもたちは木の枝や根を掴み、わずかな窪みを足場に登っていきます。先に登った子どもたちは大声で声援を送り、悪戦苦闘する友だちの手を掴んで引き上げます。



取材当日、遊びに来ていたのはウェルビューいずみこども園(秋田市泉)の保育園児20名。急斜面は格好の滑り台。嬉々として次々に滑り降りていく。



仲間を助ける手が自然と出る子どもたち



大人でも大変な急斜面。実習で参加していた大学生も見守る中、枝やツルに掴まったり助け合って斜面に挑む園児たち。



丸太の上をバランスをとって沼を渡る。落ちて泥まみれの子は誇らしげなポーズ。

その後は沼での丸太渡り。次々に足を滑らせて深いぬかるみにはまり、それこそ全身が泥まみれに……。それでも何度もチャレンジする子どもたちでした。

案内役の佐藤さんは言います。「『危ないから〇〇をしてはダメ』という言葉は、私以外、たとえ園長先生でも言わない約束です。大人たちは、危なそうだなと思うところで見守ってもらいます。そして子どもたちが手を差し出した時だけ、手助けします。そうやって、子どもが本来

持っている生きる力を発揮する様子を見て大人にも見られます。つまり、森と子どもに大人が教えらるるのです。」

## 「健康の森」の意味

森によって人間が健康になるためには、森自体が健康でなければなりません。心と体のバランスがとれてこそ人は健康になります。同じように針葉樹と広葉樹、水と土、動物や昆虫、あらゆるものが生態系の中

にあり、互いに結びついていることが大切だと佐藤さんは言います。「森を通して人を見ることで、初めて気づくことがある」のです。

「健康の森」は人間が

健康になるためだけの森ではありません。健康な森に触れることで人が癒されることを実感するのです。単純な名前に見えて、秋田の森と林業の未来を見据えた深い意味があるの

です。もっとも、子どもたちはみんな「清太郎さんの森！」と大きな声で叫んでいます。……。



佐藤 清太郎さん

お問い合わせ先  
秋田森の会・風のハーモニー  
代表 佐藤 清太郎さん  
〒010-1503 秋田市下浜羽川字小金山58  
Tel 018-879-2230  
E-Mail morinokai@nifty.com  
(ブログ) http://akitamorinokai.seesaa.net/

# 十和田八幡平の 恵みの里・鹿角

森と水の癒しの里・鹿角には5箇所の森林セラピーロードがあり  
ます。四季それぞれの安らぎを感じてみましょう。

## ① 中滝森林セラピーロード

中滝ふるさと学舎で癒しの森、川、滝、懐かしい木造校舎を活用した各種体験メニューを楽しみましょう。レンタル用品も備えているほか、ガイドの手配(要予約)もしております。



おすすめ!!  
中滝ふるさと学舎を拠点に  
滝めぐり

### 《滝の案内人と行く滝めぐり》

20ヶ所あまりの滝を擁する大湯川。新緑・紅葉シーズンともに豪快さ、華やかさが魅力です。まちの案内人協議会・滝の案内人をご利用ください。



## 大湯温泉郷

開湯800年の名湯。大湯川沿いに自然湧出した温泉で、効能の素晴らしい豊富な湯の量から江戸時代には、この地を治めていた南部藩の保養温泉地に指定されていました。共同浴場をはじめ、多くの日帰り入浴施設もあります。



特別史跡 大湯環状列石  
環状列石を主体とする大規模な縄文時代後期(約4000年前)の遺跡です。遺構と遺物から縄文時代の精神文化や社会構造を理解できる史跡として貴重なものです。



## ② 黒森山森林セラピーロード

大湯温泉の北側にあり、豊かな森の小道です。公園も整備されています。大湯環状列石、800年の歴史を誇る温泉、数々の滝など変化に富むゾーンです。



## ③ 東山森林セラピーロード

市中心部に位置し、アクセスが容易で各種スポーツのできる総合運動施設(アルバス)が隣接しています。スキー場はゲレンデ以外は夏でもオープン。ローラースキーやウォーキング、森林セラピーを楽しめます。



史跡尾去沢鉱山  
和銅元年(708年)に発見されたといわれる尾去沢鉱山。製錬所跡や坑道内を見学するコースや、砂金採り等の体験コース、鉱山歴史館等があります。TEL0186-22-0123

## ④ 湯瀬渓谷森林セラピーロード

湯瀬温泉近くの渓谷沿いにあり、両側は深い断崖絶壁、米代川と相まって新緑・紅葉の渓谷美を楽しめます。



## ⑤ 八幡平森林セラピーロード

ブナの原生林や湿原、高山植物が豊富で、温泉が自噴しているところが見られます。雄大な自然に圧倒されるエリアです。



### ▲後生掛自然研究路

遊歩道があり、日本一の大泥火山など生きた火山現象を観察できます。

### 大沼▶

沼を中心に遊歩道があり、季節ごとの花や美しい紅葉を楽しめます。

### 八幡平アウトキャンプパーク「アスピア」

日本最大級の広大な敷地に充実した設備が整い、周辺には温泉が10ヶ所以上ある抜群の環境です。

### 八幡平 情報拠点

### 八幡平ビジターセンター

八幡平の観光案内をはじめ、施設裏手の泥火山案内(随時)や大沼散策路を案内(期間中、金・土・日)、自然展示館には、八幡平の自然を写真や標本などで展示するほか、映像コーナーもあります。TEL0186-31-2714 期間/11月中旬~4月中旬

## 八幡平温泉郷

八幡平国立公園内及び八幡平エリアに点在する温泉。国内有数規模の湯量を誇ります。古くから湯治場としてにぎわい、野趣あふれる温泉が多いことで知られています。

## もう一つの森林セラピー拠点

かづの八幡平森林セラピーステーション「八幡平ふれあいやすらぎ温泉センターゆらら」

セラピースペースを設けており、様々なリラクゼーション機能に加え、温泉を利用することにより、「森林セラピー」と「温泉浴」の相乗効果が期待できます。TEL0186-31-2288

## 湯瀬温泉郷



「川の瀬からお湯が沸く」ほど、湯量が豊富なことから湯瀬の名がつけられたと伝えられています。名湯湯瀬渓谷にまつた温泉街。お湯は美肌効果があり、「日本三大美人の湯」の一つです。

## COLUMN

「五感」でとらえる  
森のパワー

効果的に森のパワーを得るために

森の中で「五感」(視覚・聴覚・触覚・嗅覚・味覚)のアンテナを研ぎ澄ませると、血圧の低下や脳活動の鎮静化などの効果があることがわかっています。

### 聴く

耳を澄ませよう!!木立の葉が風に揺れる音、せせらぎ、鳥のさえずりに…。

### 触る

木の葉、木の幹に触れたり巨木に抱きついてみるのもおすすめ。

### 見る

森林風景を眺めるだけで癒しのパワーをもらえる!!

### 嗅ぐ

深呼吸して森林内に放出されているフィトンチッドを取り込もう!!

### 味わう

木の実、キノコ、湧き水など大地の滋味を味わうことで心と体によい効能が…!!

## セラピーメニューを提供する 拠点宿泊施設 「かづの森の癒し宿」

郷土料理のほか、地産食材を使って薬膳や精進料理風に調理した「かづの森の癒し食・かづの森の癒し弁当」など滋味豊かで身体にやさしいセラピー料理が味わえます。

### かづの森の癒し宿・認定宿泊施設

- 源泉・秘湯の宿ふけの湯 (TEL0186-31-2131)
- 四季彩り秋田づくし 湯瀬ホテル (TEL0186-33-2311)
- 志張温泉 元湯 (TEL0186-25-8188)
- 鹿角トレーニングセンターアルバス (TEL0186-23-8000)
- 宿 花海館 (TEL0186-37-3221)
- 大湯温泉ホテル鹿角 (TEL0186-30-4111)

### 四季折々、美しい自然と風物詩 — 鹿角の旅

春

八幡平アスピーテライン雪の回廊

夏

国重要無形民俗文化財 花輪ばやし

秋

錦の絵模様 十和田湖

冬

国重要無形民俗文化財 大日堂舞楽

### 十和田八幡平国立公園

お問合せ 十和田八幡平観光物産協会 TEL 0186-5201 秋田県鹿角市花輪字新田町11-4  
TEL 0186-23-2019 FAX 0186-23-7715  
http://www.ink.or.jp/kankou18/ mail kankou18@ink.or.jp

### 豊かな自然に育まれた美味しい名産品 — 鹿角の味

北限の桃・鹿角りんご・淡雪こまち(米)・かづの牛・八幡平ポーク・桃豚・きりたんぼ鍋・鹿角ホルモン……etc.

**食の魅力・満載!!**

### きりたんぼ発祥の地

鹿角ホルモン

かづの牛

北限の桃

お問合せ 十和田八幡平観光物産協会 TEL 0186-5201 秋田県鹿角市花輪字新田町11-4  
TEL 0186-23-2019 FAX 0186-23-7715  
http://www.ink.or.jp/kankou18/ mail kankou18@ink.or.jp

あきた  
緑化の足跡



昭和29年4月27日

第5回秋田県植樹祭開催地 — 栗田神社地内《秋田市》

昭和29年、第5回秋田県植樹祭会場となった秋田市新屋の栗田神社地内。当日は秋田県知事や秋田営林局長、秋田県森林組合連合会長、秋田市市長の他、約100名の参加者が植樹を行いました。神社境内ということもあり、管理が行き届き植樹木のサクラ3本、クロマツ約50本が立派な樹姿をみせています。

栗田神社は秋田藩の砂留方として任命された栗田定之丞を祀った神社です。その昔、新屋村は日本海に面した広大な砂地で草木が生育せず、暴風がおこると飛砂が人家や耕地を埋め、その被害は村が亡びてしまう程の危機であったとされま

す。定之丞は寛政9年(1797)から文化11年(1814)まで18年間に渡り新屋村他各地の砂防林事業を行い、その公益の精神は人々を感動に導き、新屋住民は定之丞への遺徳をたたえ、天保3年遺愛碑を刻み、安政4年に栗田神社を建立しました。



天保3年に刻まれた「栗田君遺愛碑」

社殿は新屋割山にありましたが大正元年、雄物川改修工事に伴い現在の栗田町に移転しました。砂地のクロマツ林のなかにある社殿は、植林に一生を捧げた栗田定之丞の霊が眠るにふさわしい佇まいです。

神社から程近くにある新屋表町通りはかつては宿場町として栄え、佐竹36歌仙の絵馬や、湧き水、醸造元、歴史的な建築物などが点在する和みのスポットです。また大川端带状近隣公園は川沿いに遊歩道が整備された親水空間となっております。栗田神社と合わせての散策がおすすめです。



クロマツにサクラが映える春

風格漂うクロマツ

Photograph  
この一枚

八田の親杉

【秋田市】

秋田市下浜・八田集落の入口、尾根のせり出した先端に繁るのは樹齢四百年、幹周五・二mの八田の親杉と呼ばれる巨木です。樹勢は未だ衰えず枝葉の数も多く、堂々とした姿を見せてくれます。親杉の名は大杉の転訛といわれています。親杉の側には、かつて「玄海の松」と「相生いの杉」という夫婦樹がありました。悲しい恋に終わった修行僧玄海坊と長者の娘をなくさめようと植えられました。残念ながら松は枯れてしまいました。が、今なお語り継がれている悲恋伝説で、この周りは「玄海の崎」と呼ばれています。



©Tezuka Productions・SPEJ

感謝の心、大切に。

お客様とのお取引が秋田銀行の財産。  
感謝の心を大切に、  
よりよいサービスを提供してまいります。

<http://www.akita-bank.co.jp/>





もりのかぜ・ねっと

緑の募金大使「森っち」

# INFORMATION



緑の募金  
シンボルマーク

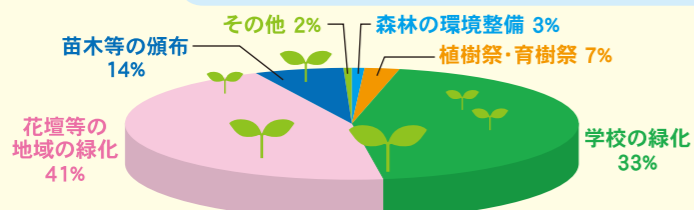
## 緑化推進委員会の主要事業

「緑の募金」運動の推進～緑の募金運動を広く展開し、それを主な原資として次のような事業を推進しています。～

- 地域緑化活動支援
  - 市町村等が行う緑化イベントへの支援
- 緑化思想の啓発
  - チラシ、看板、キャンペーン、機関誌発行、緑化関係表彰
- 県民参加の森づくり推進
  - 森林祭等開催、市民グループ森林づくり活動支援
- 森林ボランティア育成
  - スタンプラリー、活動支援、リーダー養成
- 名木・古木の保護
  - 診断、調査の支援
- 国土緑化運動
  - 国土緑化推進機構連携事業、東日本大震災被災地支援、公募事業
- 緑の少年団等育成
  - 交流会、学校緑化コンクール、活動支援、学校緑化、子供木づかい体験(つみ木のプレゼント)
- 緑化表彰
  - 各種緑化功労者、学校緑化コンクール等の表彰
- 公募による緑化活動の支援
  - 国土緑化推進機構及び県緑推の公募による緑化活動の推進

※秋田県緑化推進委員会は、国土緑化推進機構・各都道府県緑化推進委員会と連携し、緑の募金による東日本大震災被災地のみどりの再生支援を行っています。

市町村では、「緑の募金」をこんなことに役立てています。

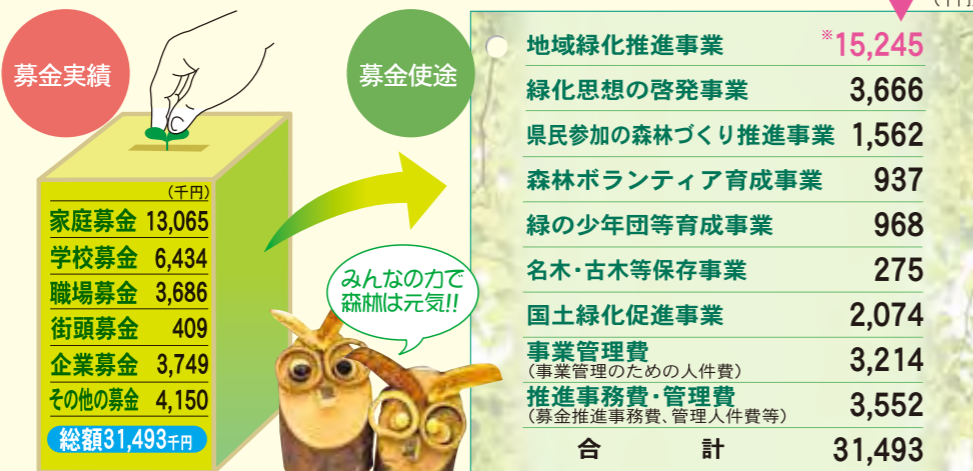


項目	金額(千円)
森林の環境整備	343
植樹祭・育樹祭	680
学校の緑化	3,466
花壇等の地域の緑化	4,365
苗木等の頒布	1,521
その他	195
計	※ 10,570

※地域緑化推進事業のうち、資材購入費、推進事務費を除いた緑化活動費の内訳です。

平成25年度の「緑の募金」の実績と使途は次のとおりです。

(千円)



みんなの力で  
森林は元気!!

●上記のほか、秋田県、(公社)国土緑化推進機構等の助成による緑化事業を行っています。

## TOPICS

### 角館に新たな桜の名所を!～「市民いこいの森林」～

国道46号線沿いの仙北市角館町西長野地区には、かつて角館スキー場がありました。冬期間の市民の憩いの場として整備されたスキー場でしたが、利用客の減少から廃止され、その後は放置されて荒廃が進み、山の地肌がむき出しの状態でした。



そこで、スキー場跡に隣接する市の第三セクター温泉施設「花葉館」が中心となって、植栽グループを組織化し、平成21年度から様々な制度を活用しながら植栽に取り組んでいます。さらに平成25年度からは「ふるさとの森林再生事業」を導入して、市民参加で桜の苗木を植栽し、「市民いこいの森林」として整備しています。

地元住民をはじめ、小学生・保護者、老人クラブ、秋田市からの参加者に加え、昨年はアメリカからの観光客(12名)の飛び入り参加もありました。「市民いこいの森林」の周辺にはグランドゴルフ場、ゲートボール場、野外遊具場、ロッジなども整備されており、これらと一体となった市民に親しまれる森林づくりをめざしています。角館といえば、言わずと知れた桜の名所です。地元の人たちは、武家屋敷のしだれ桜、松木内川堤のソメイヨシノに続く、新たな花見スポットの誕生を夢見て取り組んでいます。



### ふるさとの森林再生事業 《ふるさとのシンボリックな森林再生の取組を進める事業》

- 【支援対象】「ふるさとの森林」を将来にわたって引き継いでいくための次に掲げる事業
- ふるさとのシンボルとなる森林の造成
  - 記念樹の植樹による森林の造成
  - 希少性など価値ある森林の保護増殖
  - 地域の象徴的な樹木で衰弱したものの樹勢回復処置等
- 【支援内容】標準事業費50万円(特認事業は最大100万円)以内
- 【事業採択】国土緑化推進機構が、県緑推の推薦を受けた事業について有識者等による選考委員会、事業審査会に諮り選定します。

## MEMO

- 3月25日(火) ●秋田市で「(公社)秋田県緑化推進委員会第43回通常総会」開催
- 4月10日(木) ●農林中央金庫秋田支店が、募金や緑化活動の支援グッズとして「花の種」を寄贈
- 4月26日(土) ●秋田駅前「緑の募金街頭キャンペーン」開催
- 6月1日(日) ●新潟県長岡市で第65回全国植樹祭が開催され、秋ノ宮小学校が全国学校緑化コンクール学校林等の部で準特選(国土緑化推進機構会長賞)を受賞。
- 6月27日(金) ●(株)NTTドコモ東北支社秋田支店が「2014あきた水と緑の森林祭」への協賛金を寄贈
- 7月12日(土) ●大仙市八乙女公園で、「2014あきた水と緑の森林祭」を開催
- 7月23日(水)～25日(金) ●岐阜県で開催された「緑の少年団交流大会」に秋ノ宮小学校杉の子隊が参加
- 8月21日(木) ●森の名手・名人に2人の方が選定された秋田市 菅 詔悦(マタギ) 由利本荘市 佐藤咲夫(木工芸)
- 8月20日(水)～21日(木) ●秋田市河辺の森林学習交流館で、「秋田県緑の交流集会」を開催
- 9月1日(月) ●全国学校緑化コンクールに推薦 学校林活動の部:八峰町立水沢小学校 学校環境緑化の部:北秋田市立鷹巣南中学校
- 10月8日(水) ●秋田市河辺岩見で、「中通小学校育樹体験」を開催

## もりのかぜ

Vol.6

編集・発行

平成26年10月15日(水)発行

公益社団法人 秋田県緑化推進委員会  
〒010-0941  
秋田市川尻町字大川尻170-169 森林環境会館内  
TEL018-883-0815 FAX018-883-0816  
[Eメール] akiryoku@estate.ocn.ne.jp  
URL http://www6.ocn.ne.jp/~akiryoku/

制作

有限会社 バレア

〒010-0951 秋田市山王7丁目5-10  
TEL018-896-7225 FAX018-883-0004

## 編集後記

木曾節で歌われ馴染み深い御嶽山が突然噴火し、戦後最大の火山災害となりました。真っ青な空に突如沸き上がる噴煙、降り積もった火山灰と有毒ガスの中で続けられる救出作業……テレビに映し出される映像に言葉を失いました。

噴石の間をかくぐって助かった方と、直撃を受け落命された方を分けたのは単なる運(偶然)だったのでしょうか。事前の準備として情報収集や装備充実に努めていたら、そう思わずにはいられませんでした。登山者の尊厳を無駄にしないためにも、私たちは安全を確保するために、得られた教訓を活かしていかなければなりません。

県内にも、鳥海山、栗駒山、駒ヶ岳、焼山の活火山があり、いつ噴火してもおかしくはありません。特に東日本大震災の影響は、数年を経てこれらの火山に必ず現れると言う研究者もおります。とても、他人事には思えない出来事でした。(T・Y)

## みんなが森林の応援団!! 緑の募金

への協力と森林づくりへの参加をおねがひします。  
■緑の募金は、地域の環境緑化活動や森づくり活動への支援に使われます。



募金期間

春季 4月10日～5月31日

秋季 9月1日～10月31日

実施主体/(公社)秋田県緑化推進委員会  
市町村・市町村緑化推進委員会

### 緑の募金でふせごう地球温暖化





the most beautiful  
villages  
in japan

## ジュネス栗駒スキー場

出羽富士・鳥海山を望む絶景のゲレンデは、ゆったり楽しむ2,500mのロングなコース、非圧雪の深雪を楽しむエキスパートなコースなど多彩なコースが揃います。ホテルや各種レストランも充実した大人気のスキー場です。



ゲレンデに直結する「ホテルプラン」



※平成26年12月13日オープン予定



# 大自然に身を委ねる

絶景のフィールドに広がるジュネス栗駒スキー場。

ゲレンデからは遠く鳥海山の絶景が広がります。

源泉掛け流しのいで湯 やまゆり温泉も新たな魅力処です。

スキーと温泉の旅を満喫しませんか。

栗駒国定公園・焼石連峰の山懐  
美肌の湯、癒しの湯

## やまゆり温泉

四季折々美しい大自然の中で森林浴や登山など存分に楽しみながら名湯「やまゆり温泉」で至福の時をお過ごし下さい。

**\*pH9.8の強いアルカリ性単純硫黄温泉**

お肌がツルツルになる美肌の湯です。

湯治にもご利用下さいませ。



お問い合わせ

**秋田県東成瀬村** 東成瀬村役場 企画商工課  
秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字仙人下30-1

TEL0182-47-3402 FAX0182-47-3260 <http://www.higashinaruse.com/top.php>

■ジュネス栗駒スキー場 / 〒019-0803 秋田県雄勝郡東成瀬村椿川字柳沢39-7 TEL0182-47-3101 <http://www.jeunesse-ski.com/>  
■仙人郷 やまゆり温泉 ホテルプラン / 〒019-0803 秋田県雄勝郡東成瀬村椿川字柳沢39-7 TEL0182-47-3104 <http://www.yamayuri-onsen.com>